

10代の「死にたい」 気持ちに向き合う

もし、児童・生徒、身近にいる子どもに「死にたい」と打ち明けられたらどうしますか。

どんなふうに話を聴けばよいでしょう？

10代の自殺を予防するための基礎知識や子どもに向き合う姿勢と留意すべき点などをお伝えします。

WEB開催

日時 | 令和3年9月29日(水)
15:30~18:00

講師 | 山登 敬之 氏 (精神科医)

明治大学子どものこころクリニック院長
明治大学文学部心理社会学科特任教授

主催 |  東京都

共催 |  明治大学
心理臨床センター
MEIJI UNIVERSITY Center for Clinical Psychology

後援 | 千代田区

(公社) 東京都歯科医師会

(公社) 東京都医師会

(公社) 東京都薬剤師会

Lecturer - 講師



山登 敬之 氏 精神科医

明治大学子どもこころクリニック院長 | 明治大学文学部心理社会学科特任教授
もしも、あなたが10代の若者を支援する職に就いているとして、ある日、子どもから「死にたい」と打ち明けられたらどうしますか。どんなふうに話を聴けばよいでしょう？子どもに何が起きているのか、どのように向き合っていけばよいのか、子どものこころの見方・捉え方を一緒に考えていきましょう。

content - 内容

第一部

想定事例に基づき、公認心理師を志す大学院生たちと一緒に、「死にたい」という10代の子どもに向き合う姿勢と留意すべき点などについて考察します。
「子どもの自殺」についてのミニレクチャー付き。

第二部

「死にたい」という子どもを前に、^{とが}咎めたり、説教をすることは意味をなしません。子どもの教育や福祉に関心のある人、援助職を目指す人、子どもに年齢の近いみなさんでリアルな言葉を探しましょう。グループワークを行ったのち、そこで生まれた声を全体でシェアしましょう。

information - 参加方法等

- 令和3年9月10日（金）17時までに、メールでお申込みください。➔

申込先 | S0000289@section.metro.tokyo.jp

件名 | こころといのちの講演会参加申込

本文 | お名前、メールアドレス、所属等(学校・団体・区市町村名等)

定員 | 約200名

対象 | 都内在住・在学の学生

特に教育・医療・保健・福祉・法律等、将来、対人援助職を希望する方の参加をお待ちしております。

- 無料オンライン配信ツールにより、ライブ配信にて開催します。
- 長時間インターネットに接続可能な通信環境の準備、PC・タブレット又はスマートフォンのご用意をお願いいたします。
- 視聴方法等の詳細は、お申込み後にご案内いたします。

<問合先> 東京都福祉保健局保健政策部健康推進課自殺総合対策担当 03-5320-4310

* 収集した個人情報は、本事業に係る連絡にのみ使用いたします。



東京都公式HPで
情報発信中！



登録番号(3)111

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。